



市民しんぶん 北区版

いきいき北区

8/15

北区の数字 平成23年 7 月 1 日推計

※平成22年国勢調査速報集計結果に基づく推計です。

世帯数	56,715世帯
総人口	121,634 人
面積	94.92 km ²

ホームページアドレス <http://www.city.kyoto.lg.jp/kita/>

9月1日は
防災の日

「自らの身の安全は自らが守る」を基本に 大震災に備えて私たちができることは



東日本大震災の津波被災写真



阪神・淡路大震災の被災写真

日常的に、
できることからひとつずつ！

「防災の日」は関東大震災の教訓を忘れないため、また、広く国民が災害についての認識を深めこれに対処するため、制定されました。

3月11日に発生した東日本大震災は、我が国観測史上最大となるマグニチュード9.0を記録し、激しい揺れとその後襲った巨大津波によって多くの方々が犠牲となりました。そして、被災地では、懸命な復興活動が続けられています。

そして私たちの北区でも



京都市周辺の活断層図

京都市周辺には多くの活断層があり、これらの活断層が動けば強烈な揺れが一气におそい、甚大な被害を及ぼすことが想定されています。特に花折断層地震が起これと、北区の市街地では震度7から6強、山間部では震度6弱から5弱の揺れが予想されます。

平成7年には阪神・淡路大震災、平成12年には鳥取県西部地震などが続いて起こり、近畿地方は地震の活動期に入ったと考えられています。私たちもいざというときのために日ごろから備えておく必要があります。

消防局では、大地震が発生した直後において地域の皆様が協力し合って必要な災害対策を実施するための拠点となる「地域の集合場所」を明示するシールを各ご家庭に配布しています。



こちらに「地域の集合場所」を各ご家庭で記入していただきます。

●家族の話し合い

確認！家の中で1番安全な場所はどこ？
役割分担や避難経路の確認
普段の付き合いを大切にし、隣近所と協力できるようにしておきましょう。

地域の集合場所はどこ？

●防災環境の把握

地域の防災マップに加えて、わが家の防災マップを作ってみては。
自分の住む街の危険な場所を確認しておきましょう。

●知識・技術を身につけましょう。

日ごろから積極的に防災訓練や講習会に参加して、知識や技術を身につけておきましょう。



●家具類の転倒・落下防止を



家具などを固定し、転倒や落下防止措置をしておきましょう。
けがの防止や避難に支障のない家具の配置をしましょう。

●防災用品の備え 場所を決めて準備

避難時に持ち出す物の準備
3日分の食料や水の確保が目安
消費期限も要チェック



市政情報総合案内コールセンター
京都いつでもコール
～市政の手続きや制度、イベント、施設などのお問い合わせ～

午前8時～午後9時
(年中無休)
☎661-3755
FAX 661-5855

電子メール (以下のホームページから)
パソコン <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>
携帯電話 <http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/>

北区のこよみ

■重陽神事と烏相撲
■紅葉音頭

日時 9月9日(金)
日時 9月10日(土)

場所 上賀茂神社
(上賀茂本山)